



うちだっ子

重点目標 自分^{いち}一 で みんな^{いち}一

【校長：田中正信】

気持ちを<カタチ>に

「『心』は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。その気持ちをカタチに。」

この言葉をご存じの方も多いかと思います。東日本大震災以降、AC ジャパンの CM で繰り返し流れていた、詩人・作詞家の宮澤章二さんの詩「行為の意味」の一節です。

私たち学校は、本当に多くの方々に支えられています。毎朝の子どもたちの安全を見守ってくださるスクールガードの皆様。そして、日頃から温かく見守ってくださる保護者・地域の皆様。皆様からの日々の「こころづかい」と「思いやり」に感謝の気持ちでいっぱいです。

皆様への感謝の気持ちは目には見えませんが、私たちはその気持ちを<カタチ>にしてお返ししたいと考えています。子どもたち一人ひとりが、あたたかい行為や優しい行為にあふれる『地域に誇れるうちだっ子』へと導くことが、感謝の気持ちを<カタチ>として示すことであると信じています。そして、さらに私たち職員は、子どもたちや保護者・地域の皆様の思いや願いを<カタチ>にできるように、これからも学校教育すべてにおいて努めてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

ここから原文です。

あなたの<こころ>はどんな形ですかと
ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも<こころ>は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに<こころ>はだれにも見えない
けれど<こころづかい>は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の<思い>は見えない
けれど<思いやり>はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為となるとき
<心>も<思い>も 初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ



<台風 15 号による引き渡しへのご協力ありがとうございました>

台風 15 号の大雨により 9 月 5 日（金）に急遽、保護者の皆様にお子様の迎えを依頼することとなり、ご迷惑をおかけしました。

当初は、5 時間目の授業終了後に、職員が付き添い登校班ごと集団下校をする予定でしたが、菊川市に大雨警報が発令されたこと、またそのことによる河川の増水等を考慮し、子どもの命を守ることを最優先として、保護者の皆様に引き渡すという判断にさせていただきました。

結果論になりますが、やはり河川の増水や冠水等があり、子どもたちだけで下校していたら…とこわくなりました。保護者の皆様にはお仕事もあったり、大雨の中のお迎えだったりと本当にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。ご協力をいただき心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



この写真は、9 月 1 日（月）の引き渡し訓練時の写真です。

<9 月 16 日から保護者面談が始まります>

学級担任からすでに周知されている保護者面談について、改めてお知らせいたします。

面談時は、通知表をもとに保護者の皆様へ、お子様の様子をお伝えします。通知表は、お子さまの学校での学習の様子や成長について、ご家庭と一緒にお子様と振り返るためのものです。担任が 4 月から 9 月までの期間を丁寧に振り返り、現在作成しています。

面談時間は 10 分間と短いですが、お子様の成長を支えるために担任と保護者の皆様で共有する貴重な時間であると考えています。この時間が有意義なものになるよう願っております。お忙しい中とは思いますが、ご協力をお願いします。

なお、子どもたちには 9 月 22 日（月）に通知表を配付する予定です。

P T A 奉仕作業ありがとうございました！



9 月 6 日（土）に PTA 奉仕作業が行われ、政所、高田、東平尾、平尾、西平尾の皆さんにご協力をいただきました。暑さの中でしたが、きれいになりました。ありがとうございました。



内田小学校ホームページには、学校ニュース、年間行事計画、下校時刻（9 月）、これまでの学校だより等をご覧になることができます。**ぜひ、毎日 1 回以上**ご覧くださいね。



うちだっ子

重点目標 自分^{いち}一 で みんな^{いち}一

【校長：田中正信】

<5年生：『観音山少年自然の家』に行ってきました!>



写真①②は、22日の昼の放送で5年生にサプライズで『観音山行ってらっしゃいの会』を開き、各クラスの代表者から「行ってらっしゃいの応援メッセージ」が伝えられている様子です。

<充実のクラブ活動!>



今年度のクラブ活動は、いよいよ残り2回となりました。外部講師に入っているクラブでは、講師の方の説明を熱心に聞きながら、活動に参加しています。ペーパーアートクラブ(左写真)は毎回作品ができあがり、大事そうに持ち帰る姿が印象的です。

他にも、バスケットボールクラブ、カードゲームクラブがあり、4年から6年生が、活動を自分たちで考えながら取り組んでいます。

<晩夏のノート展が開催されました>

本年度、新たに取り組んだ活動「ノート展」が9月16日～17日に実施され、全校でノートを見合うことを行いました。「文字だけでなく、絵や図を入れてまとめてあって、とても分かりやすい!」と高学年のノートを見た下学年からの感想の声がありました。



次回のノート展は、10月末の『秋のノート展』です。



<2年生・1組・2組 大根の種を蒔きました!>

9月17日(水)、この日は、2年生にとって「野菜の先生」であるJA 遠州夢咲の植田様に種蒔きのコツを教えていただきながら小さな大根の種を大事に扱い種蒔きをしました。

実は、生活科の授業で「冬野菜を作ろう」と投げかけたところ、子どもたちから「植田さんに教えてもらいたい!」とリクエストがあり、種蒔きの1週間前に冬野菜について植田さんに来校していただき、様々なことを教えていただく時間がありました。上の左写真は、植田さんが来校した際に、教室での授業が待ちきれず、職員室前で植田さんを取り囲んで子どもたちが質問攻めにしている様子です。大根の収穫は11月頃です。大きな大根の収穫が楽しみです!



みんなで称えよう! おめでとうのコーナー!

所属チーム: 菊川ベースボールクラブ



- ・スーパージュニア(4年生以下の部)【県大会出場】
- ・ジュニア(5年生以下の部)【県大会出場】



どちらの大会も11月に行われます。
がんばってくださいね!



うちだっ子

重点目標 自分^{いち}で みんな^{いち} 【校長：田中正信】

<1年生：道徳の授業『かぼちゃのつる』より(9月26日)>

<あらすじ>

わがままなかぼちゃが自分の思うままにつるをどんどん伸ばしていきます。蜂やチョウたちが注意をしますが、かぼちゃは聞く耳を持ちません。つるは道路を挟んだ隣のすいかの畑にまで伸びていき、すいかや小犬にも注意されますが、かぼちゃは構わずつるを伸ばし続けます。そして、道路をトラックが走り、かぼちゃはつるを切られて大泣きします。



子どもたちは、わがままな行動をするかぼちゃに注意をしても言うことをきいてくれなかった時の蜂やチョウ、すいかの気持ちや、注意を聞かずにつるを伸ばし続けるかぼちゃの気持ち、そして最後につるを切られてしまったかぼちゃの気持ちを、自分ごとに置き換えながら考え進めていくことができました。



授業の最後には『わがままをがまんすると、自分もみんなも安心する。』さらには、『同じ失敗をしない方がいい。』と、これまでの自分を振り返りながら、子どもたちの言葉で授業が終わりました。本教材では、わがままな行動が周囲を困らせていることに気づかせ、自分の行動を見つめ直すことが重要であり、単に「わがままをしない!」というお題目で終わらせる授業ではなく、自分自身をコントロールするよさや大切さに気づかせることがねらいとなります。

道徳の授業の最終的な目標は『道徳性を養うこと』であります。たった45分間の授業で道徳性は養われていくものではありません。道徳性は山に降った雨がゆっくりと山肌に浸透し、長い年月をかけて地下水として溢れ出るイメージと同じように、様々な人や場面に出会うことを通しながら徐々に確実に養われ、実践へとつながっていくものであると思います。

この『かぼちゃのつる』の教材と出会い、学級の友達と考えを出し合った1年生の子どもたちが、近い将来または遠い将来に同じような場面に遭遇した際「あれ?小学校の道徳で・・・」と思いつくことはないかもしれませんが、自分はどうあるべきかと「よりよく生きる」判断ができ、実践できる人になっていたら、この日の授業は実を結びます。道徳の授業は、いつかくるその日のために年間35回積み重ねられています。



内田の子をみんなで育てていきませんか？ 内田っ子サポーター大募集！

担当：鈴木（教頭）



昨年度、内田小学校に教育実習生として学んでいた常葉大学の学生さんが、実習後も引き続き、そして本年度も授業ボランティアに来てくれています。先週は、同じ大学の方も、一緒に来てくれて、1年生の教室で授業ボランティアをしてくれました。

授業にかかわらず、「子どもとふれあいたいよ」「私は、こんなことができるよ」という方がいらっしゃいましたら、内田っ子サポーターとして学校に来てみませんか？

保護者の方、地域の方による内田っ子サポーターを募集しています。お待ちしておりますね！

担当までお気軽にお電話ください。

ハロウィンチェッコリ玉入れパーティーのお知らせ！

7月のセタパーティーの直後、3年生の児童が、「校長先生、今度は10月のハロウィンの時に、みんなで盛り上がることをやってみたいです。」と、セタパーティー主催者の3年生の友達と共に私の所へやってきて、そこからこの『ハロウィンチェッコリ玉入れパーティー』の企画・準備が始まりました。

みんなが知っているチェッコリを楽しく踊り、運動会の赤白組に分かれて、玉入れを行います。（運動会時に低学年が披露してくれたチェッコリダンスと玉入れ競技と同じイメージです）

この日の翌日（11月1日（土））は『内田地区ふれあいフェスタ』があります。子どもたちは、ソーランの引き継ぎ式があるため前日は慌ただしくなることが考えられ、私としてはこの日（10月31日）の開催について、実は躊躇していました。しかし3年生の運営メンバーは、みんなに負担にならず、みんながすぐにできるものと考え、たどり着いたのが『チェッコリ玉入れ』です。

なんとかして、みんなでやってみたい！だからどうしたらいいか？と前向きに考えていた運営メンバーの姿に「当初からあきらめずになんとかしてできる最善の策を考える大切さと、そしてその場を提供し、支えることができる我々のあり方」を改めて考え直しました。

運営メンバーは、ポスターも自主的に作成し、全校に呼びかけて盛り上がっています。（右ポスターは、3年生 児童作）

そこで、この楽しいひとときを一緒に過ごしませんか。

・日時 場所 10月31日【金】 内田小学校体育館

フレンドタイム（9:55～10:10）

お時間の都合のつく方は、短い時間ですが、ぜひ子どもたちの「チェッコリ」ダンスと「玉入れ」競技をご覧ください。

あたたかな声援をお待ちしています！

